

あなたのその知識、本物ですか？

新テキスト
で学ぶ！

最新の 省エネ住宅の 「キホン」

すでに
受講された方も
ぜひ受講
ください

施工技術者講習

11.14^水 12.19^水 1.23^水

13:00～17:25(受付12:30～)

- ・住宅省エネルギー技術-基本編-
- ・断熱標準施工法
- ・適切な断熱施工の必要性
- ・不適切な断熱施工により生じる問題
- ・外皮性能確保のための配慮事項
- ・適切な断熱施工方法
- ・基礎/床/外壁/開口部まわり/天井/屋根/下屋/配線配管まわりの断熱/その他の断熱法の注意点
- ・修了考査及び解説

設計者講習 省エネ設計実務 入門編

12.7^金

13:00～17:30(受付12:30～)

- ・仕様ルート
- 1) ほぼ計算が不要な方法
- 2) 少し計算を要する方法
- ・演習問題
- ・修了考査及び解説
- ・簡易計算ルート
- 1) 外皮性能計算
- 2) 一次エネルギー消費量の計算

他にも講習日程がありますので、HPよりご確認ください。

2020年までに新築住宅における改正省エネルギー基準適合率100%達成を目標に掲げ『住宅省エネルギー技術講習会』を開催します。

講習は「施工技術者講習会」と「設計者講習会」の2種類。最新の2016年省エネルギー基準に対応したテキストを用い、適切な断熱施工方法や外皮性能の計算などを学んでもらいます。自社の社員が本当に省エネに関する設計・施工技術を理解しているのか再確認する機会としても有用です。

断熱方法「正しくなかった」3割！

2016年度のアンケート調査では、「今まで正しく施工していなかった断熱施工部分は？」との問いに対し「気流止め」との回答が33.5%、「筋かい部」が25.1%と続いています。さらに「難しい・やりにくいと感じた断熱施工の部分は？」との問い

には「筋かい部」が30.4%、次いで「気流止め」が22.2%との結果。本技術講習会を受講したことで正しい施工方法の難しさを知ることができた受講者が3割にのぼりました。

「最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か？」との問いには「現場施工者」との回答が51.4%と最も多く、次いで

「設計従事者」が47.7%、「施工管理者」が47.3%でした。現場管理や設計者だけでなく、実際に手を動かす大工や職人も正しい知識を学ぶ必要があると感じる受講者が多い結果ができました。

本技術講習会は、こうした現場施工者も適正な断熱施工技術を習得できるようカリキュラムを組んでいます。

11.14^水 けんせつプラザ東京

新宿区北新宿1-8-16

12.19^水 JR 総武線大久保駅北口より徒歩3分
山手線新大久保駅より徒歩8分



12.7^金 内海

千代田区神田三崎町3-6-15

東京学院ビル2 F 会議室

JR 水道橋駅西口より徒歩1分



1.23^水 建設ユニオン

渋谷区神南1-3-10

JR 渋谷駅、原宿駅より徒歩10分

